

BTMU

■ WEEKLY DIGEST

【經 濟】

- ・9月の製造業 PMI 指数 前月比横ばいの 51.1
- ・人民銀行 2014 年第 3 四半期景況感アンケート 企業の景況感低下

【金融・為替】

- ・8月の人民元の決済通貨シェア 世界第7位を維持

■ 人民元レビュー

- ・国慶節前の人民元は現水準での推移を予想

■ EXPERT VIEW

【日系企業のための中国法令・政策の動き】

- ・「長江経済ベルト税関区域一体化通関改革に関する公告」 他

三菱東京UFJ銀行国際業務部 東京:03-6259-6695 (代表) 大阪:06-6206-8434 (代表) 名古屋:052-211-0544 (代表)

- ・本資料は情報提供を唯一の目的としたものであり、金融商品の売買や投資などの勧誘を目的としたものではありません。本資料の中に銀行取引や同取引に関連する記載がある場合、弊行がそれらの取引を応諾したこと、またそれらの取引の実行を推奨することを意味するものではなく、それらの取引の妥当性や、適法性等について保証するものでもありません。
- ・本資料の記述は弊行内で作成したものを含め弊行の統一された考えを表明したものではありません。
- ・本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。最終判断はご自身で行っていただきますようお願いいたします。本資料に基づく投資決定、経営上の判断、その他全ての行為によって如何なる損害を受けた場合にも、弊行ならびに原資料提供者は一切の責任を負いません。実際の適用につきましては、別途、公認会計士、税理士、弁護士にご確認いただきますようお願いいたします。
- ・本資料の知的財産権は全て原資料提供者または株式会社三菱東京 UFJ 銀行に帰属します。本資料の本文の一部または全部について、第三者への開示および、複製、販売、その他如何なる方法においても、第三者への提供を禁じます。
- ・本資料の内容は予告なく変更される場合があります。

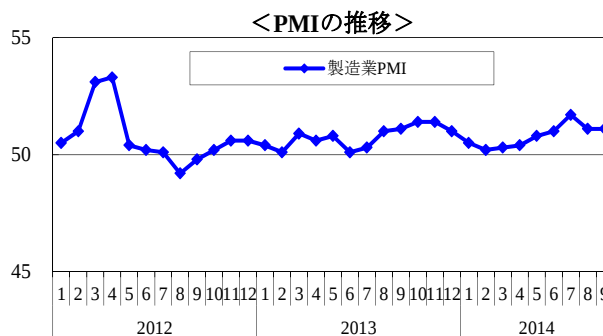
CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

◆9月の製造業PMI指数 前月比横ばいの51.1

中国物流購買連合会、国家統計局の1日の発表によると、9月の製造業PMI指数は前月比横ばいの51.1となり、引き続き景気分岐点の50を上回り、製造活動の拡大趨勢は変わらないとした。主要項目別では、外需の季節的要因を受け、新規輸出受注指数が前月比+0.2ポイントの50.2と、再び50台に回復し、生産指数は同+0.4ポイントの53.6となった。一方、新規受注指数は同▲0.3ポイントの52.2、輸入指数は同▲0.5ポイントの48.0と、何れも内需の鈍化が浮き彫りになった。なお、企業の規模別では大企業が前月比+0.1ポイントの52.0、中企業が同+0.1ポイントの50.0となったのに対し、小企業が同▲0.5ポイントの48.6と50を下回り、零細企業向け支援策強化の必要性を改めて強調した。



(出所)：中国物流購買連合会の公表データを基に作成

◆人民銀行 2014 年第3四半期景況感アンケート 企業の景況感低下

中国人民銀行は9月19日、企業、金融機関、都市部預金者を対象とした第3四半期の景況感アンケート調査を発表した。企業経営者のマクロ経済景況感指数は前期より0.6ポイント低下して32.2となり、3期連続で低下した。足元の景気について、「正常」と感じる人の割合は前期の62.5%から60.9%に減少、「冷え気味」は前期の36.1%から37.4%に増加した。一方、銀行経営者のマクロ経済景況感指数は前期より1.9ポイント上昇して29.2となり、足元の景気について、「正常」と感じる人の割合が前期の50.9%から56.1%に増加、「冷え気味」が前期の47.4%から42.8%に減少した。預金者は、足元の物価について、「高すぎて受け入れ難い」と感じている人の割合が前期の56.5%から54.0%に減少し、今後の物価については、「不変」と予想する割合が最も高く50.2%、続いて「上昇」が31.5%、「下落」が6.7%となった。また、足元の不動産価格については、「高すぎて受け入れ難い」と感じる人の割合が前期の63.0%から59.5%に減少。今後の不動産価格については、「不変」と予想する割合が前期の50.3%から51.6%に増加、「下落」が前期の15.1%から15.8%に増加、「上昇」が前期の21.2%から19.2%に減少した。

【金融・為替】

◆8月の人民元の決済通貨シェア 世界第7位を維持

SWIFT(国際銀行間通信協会)の9月25日の発表によると、8月の世界の決済通貨取引シェアランキングで、人民元は引き続き第7位に留まったものの、取引シェアは前月の1.57%から1.64%へ拡大し、シェアの拡大は4ヶ月連続となった。また、2012年8月から2014年8月までの2年間で、世界における人民元決済額は約3倍に増えた他、中国本土・香港との間で人民元決済を行っている金融機関の数も、2年前に比べて35%増えたことを明らかにした。SWIFTは、人民元決済を行う金融機関の増加が、中国本土・香港やその他オフショア市場における人民元建て商品・サービスの新たな開発、人民元の実用性の向上に繋がると指摘した。

<通貨別取引シェアランキング>

通貨名	上段：順位 / 下段：取引シェア								
	2014年								2013年
	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	
USD(米ドル)	1	1	1	1	1	1	1	1	2
	43.82%	42.08%	41.86%	41.63%	42.51%	40.19%	38.90%	38.75%	33.48%
EUR(ユーロ)	2	2	2	2	2	2	2	2	1
	29.13%	31.24%	31.25%	32.35%	30.99%	31.78%	32.97%	33.51%	40.17%
GBP(イギリスポンド)	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	8.40%	8.81%	8.54%	8.27%	8.55%	9.24%	9.44%	9.38%	8.55%
JPY(日本円)	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	2.47%	2.38%	2.50%	2.21%	2.35%	2.49%	2.51%	2.49%	2.56%
AUD(オーストラリア・ドル)	5	5	5	5	6	5	5	6	5
	1.92%	1.99%	1.95%	1.81%	1.67%	1.84%	1.83%	1.75%	1.85%
CAD(カナダドル)	6	6	6	6	5	6	6	5	7
	1.69%	1.66%	1.64%	1.71%	1.76%	1.83%	1.80%	1.80%	1.80%
CNY(人民元)	7	7	7	7	7	7	8	7	13
	1.64%	1.57%	1.55%	1.47%	1.43%	1.62%	1.42%	1.39%	0.63%
CHF(スイスフラン)	8	8	8	8	8	8	7	8	6
	1.21%	1.27%	1.28%	1.32%	1.41%	1.45%	1.45%	1.38%	1.83%
HKD(香港ドル)	9	9	9	10	9	9	9	9	9
	1.16%	1.12%	1.08%	1.06%	1.10%	1.08%	1.06%	1.09%	1.02%
SGD(シンガポール・ドル)	10	10	11	11	11	11	12	12	8
	0.93%	0.89%	0.90%	0.89%	0.89%	0.94%	0.92%	0.88%	1.05%

(出所)SWIFTの公表データを基に作成

人民元レビュー

◆国慶節前の人民元は現水準での推移を予想

今週の人民元は 6.13 台後半で寄り付いた後、6.14 挟みの動意を欠く展開が続いた。週後半は対ドル基準値が 6.15 台と元安方向へ設定されたが、実勢相場への影響は限定的であり、本稿執筆時点では 6.13 台前半へ小幅に上昇している。

23 日に HSBC が発表した 9 月の製造業 PMI 速報値(50.5)は、生産や新規受注の改善を受けて 8 月(50.2)から予想外に上昇した。HSBC 製造業 PMI と、8 月に大幅に鈍化した鉱工業生産との相関はそれほど強くなく、中国経済の先行き懸念が後退したと見るのは時期尚早だろう。ただ、政府は 8 月の経済指標を過度に懸念しておらず、改革を優先し大規模な景気刺激策を講じないとする従来の方針を貫いている。20ヶ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議において、楼財務相は「個々の経済指標の変化を理由に政策を大幅に変更することはない」との見方を示したほか、李首相も的を絞った金融緩和策を続けていくとの考えを示した。10 月は 9 月の経済指標と同時に第 3 四半期 GDP も発表される。今後の政府の出方を占う上でも注目だろう。

来週は 1 日より国慶節のため休場(7 日まで)となる。対ドル基準値が 6.15 付近で安定推移するなか、人民元も現水準を中心としつつ、堅調な推移が続くと見ている。

(9月26日作成)市場企画部市場ソリューション室 グローバルマーケットリサーチ

日付	USD				JPY(100JPY)		HKD		EUR		金利 (1wk)	上海A株 指数	
	Open	Range	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比		指数	前日比
2014.09.22	6.1385	6.1378~6.1420	6.1404	-0.0001	5.6355	0.0106	0.79226	0.0000	7.8929	-0.0134	3.2200	2397.16	-41.48
2014.09.23	6.1420	6.1376~6.1430	6.1378	-0.0026	5.6641	0.0286	0.79186	-0.0004	7.9012	0.0083	3.2000	2417.99	20.83
2014.09.24	6.1355	6.1341~6.1373	6.1346	-0.0032	5.6498	-0.0143	0.79129	-0.0006	7.8866	-0.0146	3.8000	2453.42	35.43
2014.09.25	6.1371	6.1344~6.1400	6.1363	0.0017	5.6198	-0.0300	0.79169	0.0004	7.8053	-0.0813	3.5000	2455.01	1.59
2014.09.26	6.1386	6.1252~6.1386	6.1270	-0.0093	5.6185	-0.0013	0.78980	-0.0019	7.8078	0.0025	3.6000	2457.74	2.73

(資料) 中国外貨取引センター、中国人民銀行、上海証券取引所資料より三菱東京 UFJ 銀行国際業務部作成

CHINA WEEKLY

EXPERT VIEW

【日系企業のための中国法令・政策の動き】

今回は 2014 年 9 月上旬から下旬にかけて公布された政策・法令をとりあげました。

[規則] ○「長江経済ベルト税関区域一体化通関改革に関する公告」(税関総署公告 2014 年第 65 号、2014 年 9 月 9 日公布、同年 9 月 22 日実施) ○「広東地区税関区域一体化通関改革に関する公告」(税関総署公告 2014 年第 66 号、2014 年 9 月 9 日公布、同年 9 月 22 日実施) ○「財政部の政府・社会資本協力モデル推進・普及の関係問題に関する通知」(財金[2014]76 号、2014 年 9 月 23 日発布・実施)	今年 7 月 1 日の北京・天津・河北に続く長江流域での区域一体化通関改革についての公告。9 月 22 日からまず長江デルタ区域(上海・南京・杭州・寧波・合肥税関管轄区域)で実施し、その後、適当な時期に南昌・武漢・長沙・重慶・成都・貴陽・昆明税関管轄区域に拡大する。■改革の内容は、①上海市、江蘇省、浙江省、安徽省の企業は、登記地、貨物輸出入地、直属税関集中通関地点のどの税関を選択して通関手続きを行ってもよい、②同じく港湾・空港での通関、税関間保税移送、所在地での申告と港湾・空港での貨物引き渡し、所在地での申告と貨物引き渡し、区域一体化通関のどの方法を選択してもよい、③通関代理企業は長江デルタ区域内の 1 ヶ所で登記すれば区域内のどの税関で通関サービスを行ってもよく、その分支機構も同じくどこかの税関に届出をすればどの税関で通関サービスを行ってもよい、④区域内の税関間では、商品の関税率分類、価格事前審査、原産地事前確定、各種認定結果、一時輸出入許可などの相互認証を行う(専用システム完成後は銀行一括保証、一括納税での統一保証状に対する相互認証も行う)、など。 同じく広東地区(広州、深圳、拱北、汕頭、江門及び湛江)での区域一体化通関改革についての公告。9 月 22 日から港湾と空港で実施し、12 月 1 日から陸路港にも拡大する。改革の内容は、長江流域と同様。 政府と民間のインフラ投資・運営での協力(PPP=Public-Private Partnership)の推進に関する通知。昨年 10 月の共産党第 18 期 3 中全会で、都市インフラ投資・運営への社会資本の参入を許可する方針が打ち出されたのを受けて、財政部が地方財政部門に指示したもの。■まずは対象プロジェクトの類型、資材調達の手順、資金調達管理、プロジェクト実施での監督・管理、業績・効果評価などについて、明確にするよう求めている。通知の内容は具体性に欠けるが、今後、この分野での政府各部門の動きを本格化させるものとして注目される。
--	---

(本シリーズは、原則として隔週で掲載しています。)

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社
国際本部 海外アドバイザリー事業部
池上隆介